

学校法人東北医科薬科大学からの報告の概要  
(12月23日16時07分までに受けたもの)

- 令和4年12月8日(木)14時15分頃、放射性同位元素の使用施設である同大学小松島キャンパスの管理区域外で、H-3(トリチウム)を含む廃液が入ったガラス瓶を発見した。当該ガラス瓶は、ポリ袋で2重に包まれ、蓋付きポリバケツの中に収納されて、棚に保管されていた。
- 汚染検査の結果、H-3(トリチウム)により、バケツ内側(0.12Bq/cm<sup>2</sup>)、ポリ袋(0.17Bq/cm<sup>2</sup>)、棚(0.02 Bq/cm<sup>2</sup>)の汚染を確認した。
- 上記の検査結果から、放射性同位元素を含む廃液が管理区域外へ漏えいしたことが確認されたため、本日12月23日(金)14時45分に、放射性同位元素等の規制に関する法律第31条の2の規定に基づく法令報告事象(管理区域外漏えい)に該当すると判断した。
- 本事象による人体への影響はない。

以上